

ゆるスポーツ 普及は全力で

小松に協議会設立へ

金沢市のNPO法人石川バリアフリーツアースターが、誰もが気軽に楽しめる「ゆるスポーツ」の普及に取り組む「こまつゆるスポーツ協議会」(仮称)を発足させる。小松市が支援して体験イベントなどを開き、魅力を広める。センターによると、ゆるスポーツの協議会を設立するのは県内で初めて。六月をめどに準備を進める。(青山直樹)

金沢のNPO法人が県内初

昨年10月の福祉ふれあいフェスティバルで、くつしたまいれを楽しむ参加者たち＝小松市(まつ)ドームで(同市提供)



ゆるスポーツは年齢や性別、障害の有無にかかわらず、徐々に人気を集めている。小松市は優しい町づくりにつながるよつと、三年前から普及を推進。うどんがのつた皿をゴムで引き、スライドさせて届ける「うどんりんく」など、独自競技も考案してきた。

協議会は六月までに小松市内に事務所を設け、世界ゆるスポーツ協会(東京)の沢田智洋代表理事をアドバイザーに迎える。今後市と協力して独自のゆるスポーツの考案を進め、小学校や福祉施設などで体験イベントを開く予定だ。

石川バリアフリーツアースターは、将来的には同市の団体に運営を委ねる方針。坂井さゆり理事長(セ)は「小松はゆるスポーツの普及を進めており、ぜひ協力したかった」と話し、「誰もが一緒に楽しめるのが、ゆるスポーツの魅力。やさしい町づくりにつながれば」と期待を込めた。

大漁桜 早くも満開 根上山中



満開の大漁桜を見上げる北村共さん＝能美市根上町で

能美市根上町で、早咲き品種よりも二週間早

史跡には枯れわって、カンヒなど七種類の桜が開花していった。二十本初に咲き始め、ヤエザクラまで花が楽しめる。今年はずいぶん早く、花が早まる見込管理する高坂会館の北村共二さん「桜がこんなに早くに無い」と驚きは見物客が意外に多いので、見られるので、では」と話

白山商議所が 経営相談窓口

あすから土、日、祝日

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、白山市の白山商工会議所は十四日から、会員の中小企業を対象にした経営相談窓口を土、



新たに設置された白山市西新町の経営相談窓口

日曜や祝日に開く。期間は三月末までを予定している。企業の経営相談を受ける

ほか、政府の補助金申請や、企業間の連携の問い合わせ